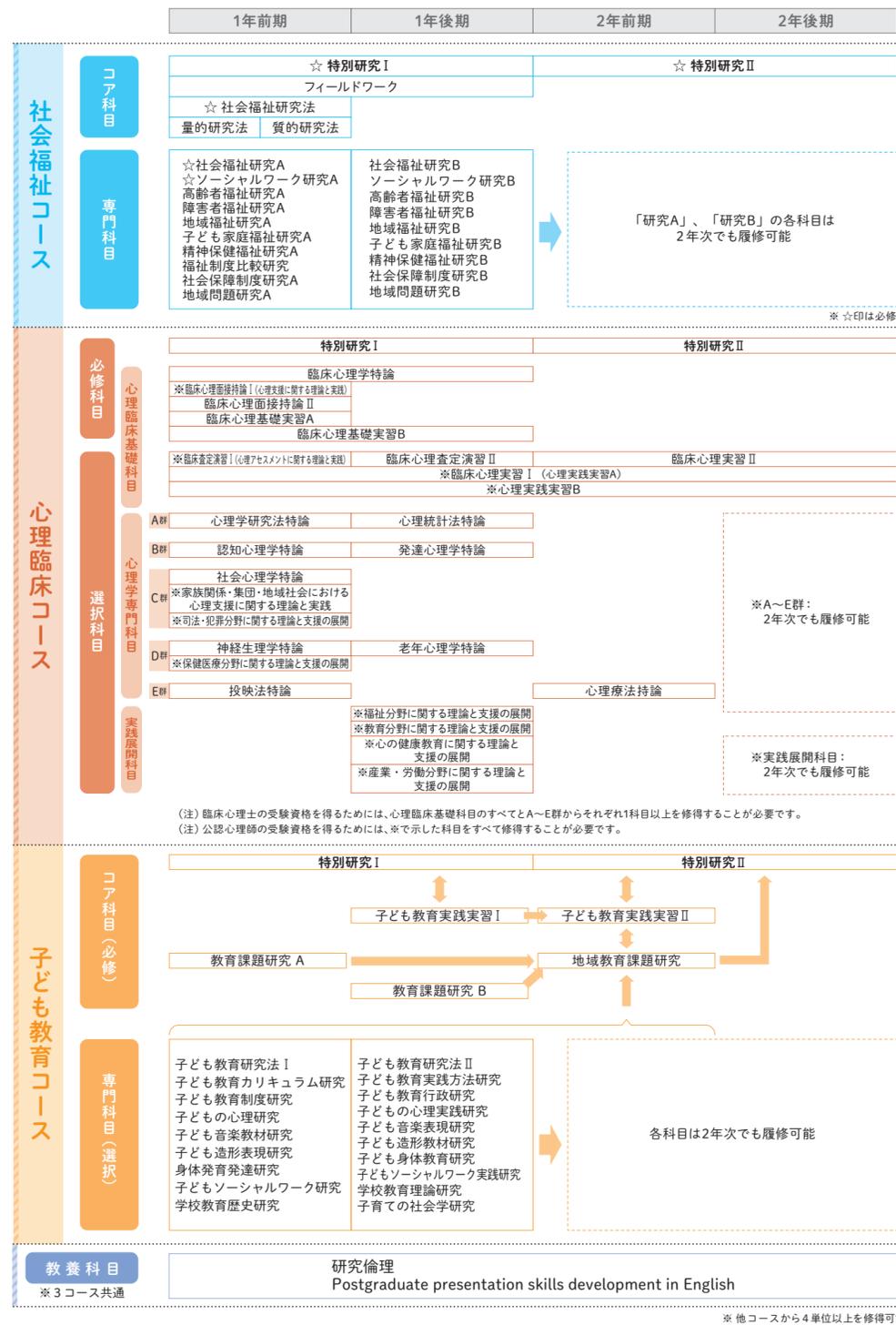


カリキュラム



2025(令和7)年度 入試概要

区分		一般選抜
募集人員	人間社会学専攻	15名
	社会福祉コース	
	心理臨床コース 子ども教育コース	
試験科目	個別学力試験	外国語 ^(注1) ：英語【社会福祉コース、心理臨床コース】 小論文：【子ども教育コース】 専門科目：コースに関するもの 口頭試問：あらかじめ提出した研究計画書に基づく
出願期間		令和6年 9月 9日(月)～ 令和6年 9月17日(火)17時必着
試験日		令和6年 9月28日(土)
合格発表		令和6年 10月 4日(金)

注1: 社会人受験者は英語の代わりに小論文を選択することができます。



大学院入試問題の過去問題の取り扱いについて

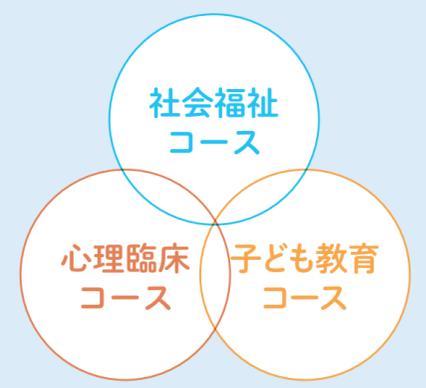
本学では、大学院入試の過去5年分の試験問題は、事務局教務入試班窓口で閲覧できます。ただし、当該年に受験者がいなかった研究科・専攻の各問題は、閲覧できません。
 閲覧に当たっては、必ず身分証明書等を持参してください。身分証明書をお預かりして、1時間を目処に問題集をお貸しします。
 また、著作権法との関係で、問題集の閲覧は私的使用に限られますのでご注意ください。
 閲覧時間は、平日9時から17時まで。
 閲覧希望者は、備え付けの閲覧簿に氏名等必要事項を記入してください。

この件に関する問い合わせは、福岡県立大学アドミッション・オフィスへお願いします。
連絡先 TEL: (0947) 42-2118 (代表)

福岡県立大学大学院 人間社会学研究科 人間社会学専攻

社会福祉コース・心理臨床コース・子ども教育コース

社会福祉・心理臨床・子ども教育に関わる専門的知識を有し
 高度福祉社会の実現に貢献できる人材を養成しています



公立大学法人 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395
 TEL.0947-42-2118 FAX.0947-42-6171

福岡県立大学 [Go](http://www.fukuoka-pu.ac.jp)
<http://www.fukuoka-pu.ac.jp>



社会福祉コース

ソーシャルワークの真髄を究める
理論と実践の融合を目指しています

- 仕事をしている人も安心の土日祝日に授業を開講しています。
- 初学者に優しい多彩な研究法を学ぶ科目を開講しています。
- 幅広く社会福祉分野を網羅した専門科目が充実しています。
- 認定社会福祉士に対応した科目も用意しています。

1 土日祝日の授業開講

社会福祉コースでは、土日祝日にも授業を開講することで、働きながら学ぶことができる仕組みにしています。社会福祉コースに在学している大学院生の多くは、職業を有しながら大学院で学んでいます。

2 研究法を学ぶ科目の新設

研究の基礎を固める「社会福祉研究法」(必修)では、修士論文を執筆するために必要不可欠な文献検索・収集・講読法、研究計画書作成法、研究倫理、論文執筆作法、プレゼンテーション法などを学びます。この科目をさらに発展させる「量的研究法」「質的研究法」(ともに1単位・選択)も設置しており、主に質問紙調査・インタビュー調査法を学ぶことでデータ収集・分析法の基礎を習得することができます。

3 充実の社会福祉専門科目

社会福祉学の基盤となる科目「社会福祉研究A・B」「ソーシャルワーク研究A・B」と同時に、「子ども家庭福祉研究A・B」「障害者福祉研究A・B」「高齢者福祉研究A・B」「地域福祉研究A・B」「精神保健福祉研究A・B」「地域問題研究A・B」「社会保障制度研究A・B」などの分野科目も充実しています。

4 認定社会福祉士対応

社会福祉士国家資格の上乗せ資格である認定社会福祉士の取得に必要な単位となる科目を設けます。研究方法系科目(「社会福祉研究法」「量的研究法」「質的研究法」)と論文指導系科目(「特別研究I・II」)がこれに相当します。なお研究方法系科目は科目履修生も受け入れます。

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究I・II」があります。さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介(8名)

<p>准教授 奥村 賢一 博士(社会福祉学) 【研究分野】 学校ソーシャルワーク・子ども家庭福祉 【主要担当科目】 特別研究I・II 子ども家庭福祉研究A・B</p>	<p>准教授 河野 高志 博士(福祉社会学) 【研究分野】 ソーシャルワーク理論 【主要担当科目】 特別研究I・II ソーシャルワーク研究A・B</p>	<p>教授 住友 雄資 博士(臨床福祉学) 【研究分野】 精神保健福祉 【主要担当科目】 特別研究I・II 精神保健福祉研究A・B</p>	<p>教授 堤 圭史郎 博士(文学) 【研究分野】 社会的排除、生活困窮者支援 【主要担当科目】 特別研究I・II 地域問題研究A・B</p>
<p>准教授 寺島 正博 博士(学術) 【研究分野】 障害者福祉 【主要担当科目】 障害者福祉研究B</p>	<p>准教授 廣田 久美子 【研究分野】 社会法 【主要担当科目】 社会保障制度研究A</p>	<p>教授 本郷 秀和 博士(社会福祉学) 【研究分野】 高齢者福祉 【主要担当科目】 特別研究I・II 高齢者福祉研究A・B</p>	<p>教授 村山 浩一郎 【研究分野】 地域福祉 【主要担当科目】 特別研究I・II 地域福祉研究A・B</p>

心理臨床コース

地域に根ざし、人と人とのつながりを大切にする
心理専門職を養成しています

- 本コースは、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院で、また国家資格である公認心理師になるために必要な科目を配置しています。
- 本学には臨床心理士・公認心理師養成について次のような特徴があります。

1 心理教育相談室における心理面接実習の充実

悩みを抱えた人の話を丁寧に聴き、心理学の観点から援助してゆく心理面接の営みが心理臨床の基本であり、その重要性和基本的技能を身につけることが大学院修士課程において最も重要な学びと考えています。本学の特徴として、年間総面接回数が多いことが挙げられます。そのことにより、1名の大学院生が担当するケース数が多く、心理面接実習が充実しています。

2 幅広い専門分野の教員と合同カンファレンス

人間性心理学、精神分析、認知行動療法、家族療法、また精神医学という様々な立場のスーパーバイザー(教員または面接指導員)から、大学院生が行う心理面接1回ごとに個別の臨床指導を受けることができます。また、毎週開催される合同カンファレンスは、心理臨床実務に関わる教員については全員が参加して行われており、多角的な視点で事例を理解する力がつきます。さらに、大学院生全員がペアレントトレーニングに参加することで、臨床現場でニーズが高まっている認知行動療法の基礎である応用行動分析を身につけることができます。

3 大学院生と修了生との学びの場としての心理教育相談室

- 本学修了生は福岡県内への就職希望者が多いですが、地元で就職する方や関西、関東圏に就職する方など様々です。医療分野が半数を占めていますが、教育分野、福祉分野への就職もしています。
- 福岡県内で就職した修了生の多くが、心理面接の基礎をしっかりと身につけるために、在学中に担当した事例を継続して担当し、卒業研修を行っています。そのため、大学院生と修了生が協働して事例を担当するなど、心理教育相談室は互いに刺激を受け、また、大学院生は修了生に支えられながら心理臨床の仕事について学びあえる場となっています。
- 福岡県立大学心理臨床研究会を年6回開催しています。リカレント教育でもあり、院生と修了生や近隣の心理職との交流の場として機能しています。日本臨床心理士資格認定協会の定例研修会としても認められています。

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究I・II」があります。さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介(9名)

<p>准教授 池 志保 【研究分野】 臨床心理学、発達心理学 【主要担当科目】 発達心理学特論 他</p>	<p>教授 岩橋 宗哉 【研究分野】 臨床心理学、精神分析的心理学 【主要担当科目】 臨床心理学特論 他</p>	<p>教授 上野 行良 【研究分野】 社会心理学 【主要担当科目】 社会心理学特論 他</p>	<p>助教 古賀 なな子 【研究分野】 臨床心理学、人間性心理学 【主要担当科目】 臨床心理基礎実習 他</p>	<p>教授 小嶋 秀幹 博士(医学) 【研究分野】 社会精神医学、精神保健学 【主要担当科目】 保健医療分野に関する理論と支援の展開 他</p>
<p>講師 小林 亮太 博士(心理学) 【研究分野】 認知心理学、感情心理学 【主要担当科目】 認知心理学特論 他</p>	<p>准教授 小山 憲一郎 博士(医学) 【研究分野】 臨床心理学、認知行動療法 【主要担当科目】 心の健康教育に関する理論と実践 他</p>	<p>准教授 麦島 剛 【研究分野】 生理心理学 【主要担当科目】 神経心理学特論 他</p>	<p>教授 吉岡 和子 博士(人間環境学) 【研究分野】 臨床心理学、心理査定学 【主要担当科目】 臨床心理査定実習 他</p>	

子ども教育コース

保育・幼児教育分野の高度な専門的職業人や
研究者を育成しています

- 子ども教育に関する多彩な分野の教員が丁寧に指導をします。
- 仕事や子育てなど、様々なニーズに配慮した時間割構成とカリキュラムを用意しています。
- 子ども教育の専門的知見を身に付けるための充実した科目を設けています。
- 受講者の研究テーマに応じた研究法を基礎から指導します。

1 多分野にわたる教員からの指導

保育・幼児教育及び小学校教育分野、子どもの心理学、児童福祉学、社会学分野などを専門とする教員から、きめ細やかな指導を受けることができます。

2 学修しやすい時間割構成とカリキュラム

子ども教育コースでは、学業と仕事や子育てを両立できるように配慮した時間割構成を設けています。また、遠方からでもメディア(オンライン)を利用して受講できる科目を数多く用意しています。子ども教育コースに在籍している大学院生の多くは、職業を有しながら学業に取り組んでいます。

3 充実したコア科目と専門科目

子ども教育コースの科目は、コア科目(必修科目)と、専門科目(選択科目)の大きく二つに分けることができます。コア科目では、オムニバス形式で子ども教育コースのすべての教員から指導を受けることができます。理論と実践の往還と融合を図り、質の高い実践的指導力を修得します。専門科目では、専門知識を修得するとともに、論理的思考力や探求力を身に付けます。

4 研究法の修得

受講者の研究テーマを踏まえ、量的・質的研究法に関する基礎的な指導を行います。研究対象を数量化して把握する量的研究法では、統計ソフトを用いた分析手法を学びます。研究対象の生活世界への理解を深める質的研究法では、インタビューやフィールドワークの方法などを学ぶことができます。

修士論文については、研究指導教員から作成指導を受ける「特別研究I・II」があります。さらに、大学院生毎に研究指導補助教員1名を決めて、在学中の学びを丁寧にサポートしていきます。

教員紹介(9名)

<p>教授 池田 孝博 博士(社会学) 【研究分野】 スポーツ科学(体育発達、測定評価) 【主要担当科目】 子ども教育研究法I・II、特別研究I・II 他</p>	<p>准教授 伊勢 慎 【研究分野】 保育学 【主要担当科目】 子ども教育カリキュラム研究、特別研究I・II 他</p>	<p>講師 櫻井 晋伍 【研究分野】 造形教育 【主要担当科目】 子ども造形表現研究、子ども造形教材研究 他</p>	<p>教授 佐野 麻由子 博士(社会学) 【研究分野】 社会学(ジェンダー) 【主要担当科目】 子育ての社会学研究、特別研究I・II 他</p>	<p>教授 杉野 寿子 【研究分野】 社会福祉学 【主要担当科目】 子どもソーシャルワーク研究、特別研究I・II 他</p>
<p>講師 董 秋艶 博士(教育学) 【研究分野】 教育学 【主要担当科目】 子ども教育制度研究、子ども教育行政研究 他</p>	<p>准教授 中原 雄一 博士(体育学) 【研究分野】 体力学、運動生理学 【主要担当科目】 身体教育発達研究、特別研究I・II 他</p>	<p>教授 藤澤 健一 【研究分野】 教育制度・政策論 【主要担当科目】 学校教育歴史研究、特別研究I・II 他</p>	<p>准教授 鷲野 彰子 博士(文学) 【研究分野】 音楽表現、音楽学 【主要担当科目】 子ども音楽教材研究、特別研究I・II 他</p>	